

気管切開孔のケア

首回りを清潔に保つ方法

1. 必要物品を用意しましょう

- 1) 首回りを拭く為のもの（濡らしたガーゼや清浄綿など）
- 2) 気管切開固定バンド
- 3) 割ガーゼ（ 枚）
- 4) 酸素・用手換気（アンビュー）
- 5) 必要な洗浄剤など（皮膚の状況に応じて）
- 5) タオル（必要時）



図 1 必要物品

2. 首回りおよびガーゼをきれいにしましょう

基本的には 2 人で行いましょう。1 人が気管カニューレを抑えて、もう 1 人がケアを行います。気切部位はきれいに保ち、観察を行います。

- 1) 手を洗い、アルコール消毒をします。
- 2) 必要物品の準備をします。
- 3) 肩の下にタオルをいれて頭を後屈し、気切部位が見えやすくなるようにします。
暴れてしまう時は、タオルで包んで工夫した方が安全です。



図 2 頭部を後屈する

- 4) 抑える人が、気管カニューレを抑えます。カニューレを押し込みすぎると気管を刺激してむせて苦しくなったり、抑えが弱いと抜けてしまうので注意しましょう。
- 5) もう 1 人の人がバンドを外し、汚れている割ガーゼを外します。その際、**気切孔周囲や頸部の皮膚状態と割ガーゼの汚染状況を観察しましょう。**
- 6) 気切孔や頸部を拭きます。
- 7) きれいな割ガーゼをはさみます。
- 8) バンドでカニューレを指 1 本入る程度に固定したあと、肩に入れたタオルはずします。
- 9) カニューレが入っていることを目で見確認し、呼吸状態が変わらないことを確認します。
- 10) 片付けをし、手を洗います。

入浴時の対応

1. 呼吸器を装着していたり、呼吸状態が悪化しやすい児は呼吸器、吸引器、酸素吸入器、アンビューバックを準備しましょう。
2. 人手があるときには 2 人以上で行うことが望ましいです。
3. 気管切開孔に水が入らないように、上体を拳上できるような体制にしましょう。
4. 入浴後、気切孔を拭いて固定バンドや割ガーゼを変えましょう。

